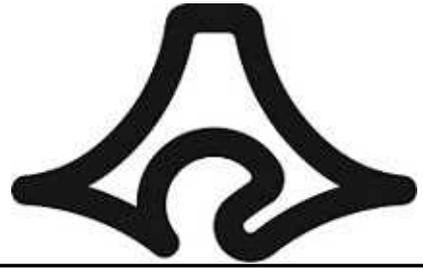


提供日 2024/10/25
タイトル 麻しん（はしか）患者の本県来訪について
担当 健康福祉部 医療局感染症対策課
連絡先 静岡県感染症管理センター
TEL 055-928-7220



危機管理情報
～麻しん（はしか）患者が本県を訪れていました～
接触した可能性がある方は、体調に注意してください！

1 要旨

10月23日に埼玉県越谷市で麻しん患者が発生し、別添のとおり、越谷市が注意喚起しています。

この患者は、下記の公共交通機関を利用して本県に来ており、保健所において患者の疫学調査を実施し、県内の接触者を特定し健康観察を行っています。

患者は、下記公共交通機関以外の利用施設はなく、下記の状況以外で県内における不特定多数の方との接触は確認されていません。接触した可能性がある方は、「2 患者と接触した可能性がある方へ」を参考に、適切な行動をお願いします。

【患者が利用した県内公共交通機関】

10月11日（金曜日）

東京駅（15:57発）

↓
東海道新幹線こだま739号新大阪行 4号車又は5号車（自由席）

↓
新富士駅（17:03着）

【県外の利用公共交通機関】

10月11日（金曜日）

東武スカイツリーライン 新越谷駅（14:30頃発） → 北千住駅（15:00頃着）

JR常磐線 北千住駅（15:00頃発） → 東京駅（15:30頃着）

2 患者と接触した可能性がある方へ

- 麻しん患者と接触した場合は、接触後最大21日間、体調に注意してください。
- 発熱、発疹等の症状から「麻しん」が疑われる場合は、必ずマスクを着用し、事前に医療機関に「麻しん患者と同じ新幹線を利用した」等を連絡の上、速やかに受診してください。
- 受診の際は、周囲の方へ感染を拡げないよう、公共交通機関等の利用を避けてください。

3 麻しんについて

(1) 症状等

潜伏期は通常10～12日間（最大21日間）であり、38℃程度の発熱や咳、鼻汁といった風邪のような症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱と共に発疹が出現します。また、麻しんに伴ってさまざまな合併症がみられ、全体では30%にも達するとされます。肺炎や、頻度は低いものの脳炎の合併例もあり、特にこの二つの合併症は麻しんによる2大死因となり、注意が必要です。

(2) 感染経路等

空気（飛沫核）感染のほか、飛沫や接触感染など様々な経路があります。感染力はきわめて強く、麻しんの免疫がない集団に1人の発症者がいたとすると、12～14人の人が感染するとされています（インフルエンザでは1～2人）が、日本国内では約85%の人が麻しんの免疫を持っており、このような感染拡大は起こりません。感染力のある期間は、発症1日前から解熱後3日を経過するまでです。

(3) 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

(4) 予防

ワクチンの効果は非常に高く、ワクチン接種を受けた人の95%以上が免疫を獲得します。しかし、接種しても、数%は免疫が獲得できない場合や、獲得した免疫が持続しない場合があります。現在、1歳（第1期）と小学校入学前年度（第2期）に、麻しん・風しんワクチンの定期予防接種を実施しており、**予防接種を2回していれば感染するリスクはかなり低下します。麻しんは予防接種で防げる病気であり、ワクチン接種は個人でできる有効な予防方法です。麻しんの定期予防接種をまだ受けていない子どもは、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。**

(5) 発生状況（単位：人） ※令和6年は第42週まで（～10/20）の暫定値

年	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
全国	744	10	6	6	23	34
静岡県	10	1	0	2	2	0

<本年の都道府県別麻しん発生件数>

(第42週まで（～10/20）の暫定値)

東京都	10
大阪府	8
埼玉県	4
兵庫県	4
愛知県	2
京都府	2
奈良県	2
岐阜県	1
滋賀県	1